

週刊

# こんにちは 山田耕平 です

2013.5.30 No.117

このニュースへのご感想  
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1  
TEL 090-9973-0941  
ホームページ  
<http://yamadakohei.jp>



## 区議会第二回定例会 5月30日より開会 保育待機児童解消 地域要求実現に向け一般質問

### 社会問題化する待機児童問題 保護者の願いを区政へ

五月三十日(木)より、区議会第二回定例会が開会します。今議会では、保育待機児童問題、特別養護老人ホーム不足や介護基盤整備の遅れ、国民健康保険料の大幅負担増などの税負担、障害者施策の拡充と災害時要援護者問題、防災対策など、様々な分野で行政の役割と責任が問われます

会期初日には、この間、一貫して追求してきた保育待機児童問題解消と地域要求実現に向けて一般質問します。

保育待機児童問題は、多くの保護者の声や党区議団の提案を受け、日々、新たな緊急対策が展開されています。しかし、抜本的な解決には遠く、認可保育所の不足は顕著です。

引き続き、待機児童解消に向けて、認可保育所の増設を求めます。



杉並区に再三の申し入れ



井荻駅南北地下通路

### 党区議団の申し入れにより 待機児童の定義変更へ

これまでの待機児童の定義は自治体毎に格差があったため、正確な実態把握を要請しました(週刊ニュース114号)。早速実現し、正確な実態把握が始まっています。引き続き、悉皆調査を求めます。

【平成25年4月の待機児童数】

区分	内訳	人数
国の定義に基づく待機児童数	親類・知人・友人に預ける	28人
	職場に連れて行く、自宅勤務に変更した	38人
	企業内保育施設・病院内保育施設を利用する	28人
合計		94人

区分	内訳	人数
より実態を踏まえた「待機児童数」	親類・知人・友人に預ける	28人
	ベビーホテルを利用する(区の保育料補助対象外)	20人
	一時保育を利用する	37人
	職場に連れて行く、自宅勤務に変更した	38人
	仕事を退職した、内定した仕事を辞退した、求職活動を止めた	51人
	育児休業を延長した	88人
	ベビーシッターを利用する	7人
合計		285人
	求職活動中のひとり親家庭など	16人

定義変更により 94名→285名へ

### 井荻駅南北地下通路に エレベーター設置を

地域要求実現に向け、井荻駅南北地下通路の利便性向上のためにエレベーターの設置を求めます。

この間の聞き取り調査結果では、多くの高齢者が下り階段に不便を感じており、上下に移動できるエレベーター設置を求めています(週刊ニュース116号)。高齢者の声と調査結果を議会でも取り上げ、早期の実現を要請します。

### 区民福祉の向上を目指して

六月五日(水)には、担当する保健福祉委員会も行なわれます。各分野の問題や改善策を取り上げ、区民福祉の向上を目指して、奮闘します。

# 私（山田）から見た吉田信夫都議とは④ “国民の苦難軽減のために” 全力で奮闘！

**原発避難者に冷たい都政を転換  
食事提供等の救援対策を引き出す**

“国民の苦難軽減のために力を尽くす” 私たち日本共産党の立党の精神です。東日本大震災の発生の際には、日本全国の党員が一丸となって被災地救援に取り組みました。その先頭に立ったのが吉田信夫都議です。

**当初、基本食事なし…の酷さ**

原発事故後、東京都は福島からの避難者を武道館等に受け入れましたが、食事の提供をせず、近隣の食堂の地図を配布するだけの対応でした。理由は“津波の被害者と違い、財産が残っているから”というもの。着のみのまま“満足に準備も出来ず、避難してきた被災者に対し、あまりにも酷い対応でした。”



避難所に食料を届ける吉田都議



先日、神山悦子福島県議が、吉田都議の応援に駆け付けてくれました。避難住民への支援の感謝と原発事故の悲惨さを涙ながらに訴えました。

**即、避難所を調査  
食事提供を実現**

吉田都議は、ただちに避難所を訪問し、大量の食糧を届けるとともに、実態を調査。東京都に対し、食事提供をするよう申し入れ、数日後には食事提供が実現しました。

“住民の苦難に寄り添い、問題解決に取り組む” 私たちの活動の原点です。

## 地域のお祭りにて 特別警戒&応急手当講習

先日、荻窪消防団第三分団で、地域のお祭りの特別警戒（万灯神輿等の事故防止、救急事故への迅速対応）と応急手当講習を行ないました。



私も応急手当普及員として、AEDの操作方法や胸骨圧迫（心臓マッサージ）等の実演・講習を行ないました。

万が一に備え、日頃からの実体験が重要です。



応急手当講習（左上）  
万灯神輿の特別警戒（左）

## 育メン日誌

絵本を読んでもらい大満足

いつも仲良く遊んでいる息子と従兄。早いもので従兄は平仮名が読めるようになってきました。

最近では、息子に絵本を読んでもくれます。親としては、読み聞かせの間、雑多な仕事をこなせるので大助かり。まだまだ、たどたどしい読み聞かせですが、息子は真剣そのもの。いつも、じっくり聴き入っています。ありがたいことです。

子どもたちの成長は本当に早いですね。



最近では息子も自己主張が激しいため喧嘩をすることもありますが、兄弟のように仲の良い二人です。